

議事1. 令和2年度（令和元年10月－令和2年9月）地域内フィーダー系統確保維持事業の事業評価について

【事業の背景】

国土交通省は、地域特性や実情に応じた最適な生活交通ネットワークを確保・維持するため、幹線バス等の地域間交通ネットワークと密接な地域内のバス交通・デマンド交通の運行について支援を行っています。

東金市では、公共交通不便地域（半径1km以内に鉄道駅、バス停等の存在しない区域）を解消し、JR東金線の駅と路線バス・高速バスの停留所との乗り継ぎを図る系統（地域内フィーダー系統）として、事前登録・予約型区域運行のデマンド交通である東金市乗合タクシーを運行しており、上記、国土交通省の支援（地域内フィーダー系統確保維持事業）を活用しています。

令和元年度「地域内フィーダー系統確保維持事業」の申請にあたっては、令和元年6月28日開催の令和元年度第1回東金市地域公共交通会議においてご承認いただいております。令和2年9月末日をもって終了した当該事業について、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第3条第5項の定めのとおり、協議会が事業評価を行い、その結果を地方運輸局長に報告することとなっています。

本件は、上記のとおり、東金市乗合タクシーの運行実績を踏まえ、「地域内フィーダー系統確保維持事業」の評価資料を事務局にて作成いたしましたので、国土交通省関東運輸局に提出してよろしいかお諮りいたします。

【評価の概要】

1日あたりの利用者数の目標は55人以上とし、これを達成するために、前年度事業の評価結果を踏まえて事業に取り組んでまいりました。具体的には、当日の無断予約キャンセルを抑制するため、予約キャンセル常習者に適宜電話での口頭注意を実施しました。また、利用者が希望する時間に予約が取れない場合でも、利用可能な時間帯を提案することにより、利用に繋げる取組みを実施しました。

結果は1日当たり利用者数42.3人であり目標を達成することができませんでした。新型コロナウイルス感染症拡大の影響による緊急事態宣言が発令され、その後も不要不急の外出自粛の要請等が続いたことによる需要低下が要因と考えられます。

【今後の改善点】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりデマンド交通の需要が一時的に低下しています。需要が回復した際に効率の良い運行が可能になるよう、予約キャンセル常習者への口頭注意等を随時実施し、予約不成立件数の削減に努めます。

【提出資料】

- ① 「資料1 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）」
- ② 「資料2 令和2年度 東金市地域公共交通会議（千葉県東金市）（地域内フィーダー系統確保維持事業）」